

男女共同参画

～男女共同参画社会は女性のためのもの？

男性にとってあまりメリットがない？～

昨年12月25日に「第5次男女共同参画基本計画～全ての女性が輝く令和の社会へ」が閣議決定されましたが、自分にはあまり関係ないと感じる人も多いのではないのでしょうか。

それでは第5次計画にはどのような内容が書かれているのか、見てみましょう。

◆第3分野 地域における男女共同参画の推進【基本認識】

固定的な性別役割分担意識などを背景に、若い女性の大都市圏への流出が増大しています。固定的な性別役割分担意識などを解消し、公正で多様性に富んだ地域社会を構築していきます。

●固定的な性別役割分担意識とは？

- 男なんだから家族を養って当然
- 男のくせに弱音を吐くな！
- 女なんだから、自分よりも家族のために尽くさない

- 女のくせにでしゃばるな
- 女なのに心配りできないな
- 女なんだから家のことをきちんとやったら仕事してもいいよ
- 男なんだから家族を養わない



固定的な性別役割分担意識とは、男女を問わず個人の能力や希望によって役割分担を決めることが適当であるにもかかわらず、「男は仕事、女は家庭」「男は主要な業務、女は補助的業務」というように、性別を理由として役割を固定的にみる考え方のことです。

この考え方は男性に「家族を養わなくてはならない」という責任感や「長時間労働」の重圧を負わせます。その結果、男性が家庭と向き合う時間が削られ、夫婦や家族との人間関係が希薄になってしまい、**男性の生きにくさの原因にもなります。**

●どんな社会になれば良いのか

固定的な性別役割分担意識「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えを改めましょう。

- 男性も女性も経済的な責任を担う。
- 女性も男性も家事・育児・介護を担う。

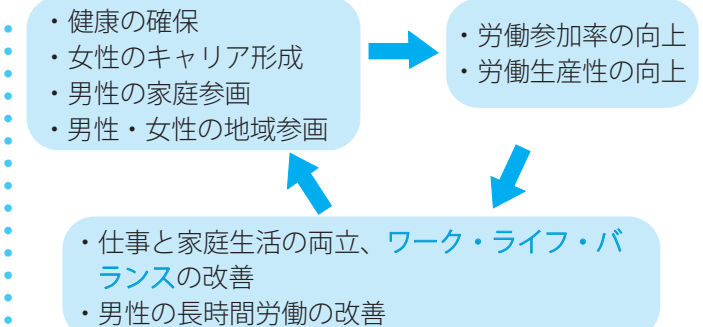
そのためには、仕事と生活の調和がとれる社会になることが必要です。そこで、第5次計画では次のようなことが述べられています。

◆第2分野 雇用等における男女共同参画の推進と仕事と生活の調和

依然として、育児や介護等を理由に就業を希望しながら求職していない女性は231万人存在します。固定的な性別役割分担意識等を背景に就業を希望しない女性も少なくないと考えられます。このような状況において、女性も男性も働きたい人全てが、仕事と子育て・介護・社会活動などを含む生活との二者択一を迫られることなく働き続け、その能力を十分に発揮することが重要です。

●男性にとっても女性にとっても働きやすい職場環境のために

これまでの「男性中心型労働慣行」から脱却し、女性も社会で活躍できる環境を整えます。



女性も社会で活躍し、責任ある仕事をこなすことで男性の仕事面での負担を削減し、男女ともに仕事と家庭生活を両立することができるようになります。男女共同参画社会は、性別を問わず全ての人が生きやすい社会を目指しています。男女共同参画社会推進のために一緒に取り組んでいきましょう。

内閣府 男女共同参画局 第5次男女共同参画基本計画
https://www.gender.go.jp/about_danjo/basic_plans/5th/index.html
参考 青森県男女共同参画センター 男女共同参画ミニ講座